

立山製紙株式会社 様

発行日: 2011年8月18日

不具合管理No. 43F-8-008

協力工場 不良品連絡書

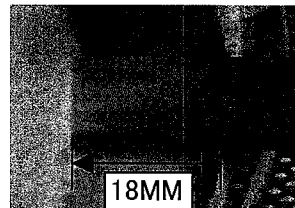
再発防止のため対策を記入の上、指定回答日までに原本を提出して下さい。

指定回答日: 2011年8月22日

承認	調査	担当

図番	1747469-1
品名	POST CONTACT MINI VP 1.0MM
ロットNo	10403.1-0131
発生日	-
不良数量	20,000
不良率	-

リール違い
本来、リール幅15.5MMを使用しないといけないがリール幅18MMを使用していた。



処置: —

1. 確認内容

別紙参照

返却品の処置 (数量明記)

2. 発生原因

別紙参照

4. 流出原因

別紙参照

3. 発生防止対策

別紙参照

5. 流出防止対策

別紙参照

実施日:

実施日:

在庫品仕掛品の確認

在庫品

0

仕掛品

0

回答日: 8/22

標準類改訂

有・無 ()

承認	調査	作成
岩段		宮本

対策後、11494.1.0247-0252~11495.1.0265-0270の計3ロットを含む6ヶ月の間同不具合無しの為、有効性を有りと判断致します。

承認	調査	確認者

平成 23 年 8 月 19 日

株式会社 鈴木 御中

立山製紙株式会社

営業部



『リール幅長さ違い』の件について

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

今回の事故発生についての調査結果を下記の通りご報告申し上げますので、宜しくご配慮賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 『リール幅長さ違い』トラブル

1.1 製品名

製品名：585×15.5×156φ SGL メンコナシ

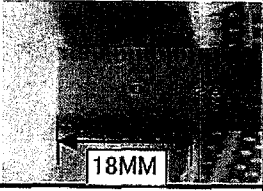



発生本数：不明

1.2 状況

株式会社鈴木様で巻いた製品を 2 次加工のため貴社協力会社に納入。巻いた部
品を取り出した際、リールと端子部分に隙間があり層間紙と製品が左右にズレが
発生し、層間紙が絡んでしまった。フランジをはぐり、紙管の幅を計測したとこ
ろ、紙管の長さが 18mm あった。

2. 経緯について

平成 22 年 1 月にタイコエレクトロニクスジャパン合同会社様のベンダーから接着不
良のクレームがありました。調査を進めた結果スロット(のぞき穴)の部分にへこみがあ
ったため接着不良が発生しました。これを解決するため紙管との接着部分全てをつぶす
ことで接着不良を解決できましたが、つぶした分リールの幅が狭くなります。そこでフ
ランジのへこみの長さ(1 枚 1mm) の分紙管の長さを伸ばし、今現在に至っております。

立山製紙株式会社 様		発行日: 2011年8月18日		
		不具合管理No. 43F-8-008		
協力工場 不良品連絡書				
再発防止のため対策を記入の上、指定回答日までに原本を提出して下さい。		承認	調査	担当
		駒津 11.8.18	黒岩 11.8.18	山田 11.8.18
指定回答日: 2011年8月22日				
図番 品名 ロットNo 発生日 不良数量 不良率	1747469-1	リール違い 本来、リール幅15.5MMを使用しないといけないがリール幅18MMを使用していた。 		
	POST CONTACT MINI VP 1.0MM			
	10403.1-0131			
	-			
	20,000			
処置	-			
協力は是正工場記入	1. 確認内容 フランジ紙管については異常はありませんでした。 紙管の長さが18mmになっているのは、別紙の通りタイコアンフ様の特価の関係で紙管の長さを2mm長くしております。		返却品の処置 (数量明記)	
	2. 発生原因 タイコアンフ様の特価(無)のもと製造しているため、紙管の長さ18mmについては、問題のないものと認識しております。		4. 流出原因 リールの幅の検査については、1山24リールとし、その高さが624~636mmとなり、その1山の高さを計測しております。	
	3. 発生防止対策 紙管の幅については、別紙の計測結果をもとに要相談の上決定したいと考えております。 実施日:		5. 流出防止対策 24リールの山の高さを計測した後、山の中から1リール取り出し、リールの幅を計測します(スロット部(丁字)を計測します(スロット部周辺は1mm以内であるためリール幅+2~3mm)) 実施日:	
	在庫品仕掛品の確認 在庫品 0 仕掛品 0		回答日: 8/22	
	標準類改訂 有・無 ()		承認 調査 作成	
協力は是正工場記入	承認 調査 確認者   		承認 調査 作成	
			承認 調査 作成	

平成23年9月2日

株式会社鈴木 御中

立山製紙株式会社東京本部
宮本佳寿

リール幅計測結果について

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

リールの計測結果についてご報告致しますので、宜しくご配慮賜りますようお願い申し上げます。

敬具

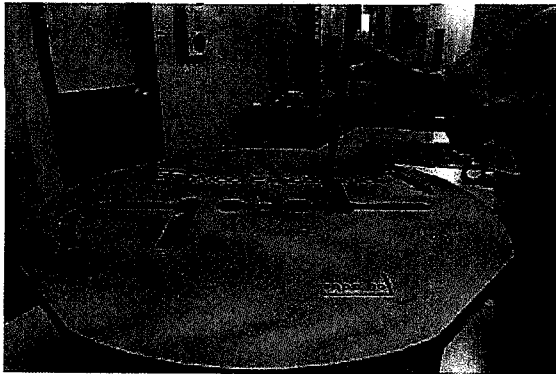
記

1. 目的

- ・ 585×15.5×156φ SGLメンコナシのリール幅15.5～16mmになる紙管幅を検証するために行った。
- ・ 時間による寸法変化の検証も行った。

2. 計測方法

- ・ 8月24日に紙管の長さ15.5mm～18mmの各0.5mm間隔でリールを各3個作成し、リール幅の計測を行いました。
- ・ リールの幅を計測するために、下記写真のようにフランジに切り込みを2か所に入れ、計測を行いました。
- ・ 1週間後の8月30日にリール幅を計測し、時間による変化を調査しました。



2 計測結果

- ・ 計測結果(別紙)より、時間による変化がほとんどありませんでした。
- ・ また、紙管長さが15.5mm～17.5mmでは、リール幅が15mm以下になり、15.5mmを下回りました。
- ・ リール幅15.5mm～16mmに当たる紙管の長さは18mmになり、18mmが妥当と思われます。

平成23年8月24日計測

天気:晴れ
気温:31.2℃
湿度:78%

紙管幅 mm	15.5			16.0			16.5			17.0			17.5			18.0		
	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
リール幅 ①	12.5	12.0	13.0	13.0	13.0	13.5	13.0	13.5	13.5	14.0	14.0	14.5	14.0	14.0	14.5	16.0	16.0	15.5
mm ②	12.5	12.5	12.5	13.0	14.0	13.5	14.0	14.0	14.0	14.5	15.0	14.0	15.0	15.0	15.0	16.5	16.5	17.0

平成23年8月30日計測

天気:晴れ
気温:31.2℃
湿度:67%

紙管幅 mm	15.5			16.0			16.5			17.0			17.5			18.0		
	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
リール幅 ①	12.5	12.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.5	14.0	13.5	14.0	14.0	14.0	14.5	14.0	15.0	15.0	15.0	15.0
mm ②	12.5	12.0	12.5	13.5	13.5	13.5	13.5	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0	14.5	14.5	15.0	16.0	15.5	16.0

平成 23 年 8 月 19 日

株式会社 鈴木 御中

立山製紙株式会社東京本部

営業部 宮本



『リール幅長さ違い』の件について

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

今回の事故発生についての調査結果を下記の通りご報告申し上げますので、宜しくご配慮賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 『リール幅長さ違い』トラブル

1.1 製品名

製品名：585×15.5×156φ SGL メンコナシ

発生本数：不明

1.2 状況

株式会社鈴木様で巻いた製品を 2 次加工のため貴社協力会社に納入。巻いた部品を取り出した際、リールと端子部分に隙間があり層間紙と製品が左右にズレが発生し、層間紙が絡んでしまった。フランジをはぐり、紙管の幅を計測したところ、紙管の長さが 18mm あった。

2. 経緯について

平成 22 年 1 月にタイコエレクトロニクスジャパン合同会社様のベンダーから接着不良のクレームがありました。調査を進めた結果スロット(のぞき穴)の部分にへこみがあったため接着不良が発生しました。これを解決するため紙管との接着部分全てをつぶすことで接着不良を解決できましたが、つぶした分リールの幅が狭くなります。そこでフランジのへこみの長さ(1 枚 1mm) の分紙管の長さを伸ばし、今現在に至っております。